

第22回

小さな展覧会

平成16・17年度京都府内遺跡発掘調査成果速報



日時：平成18年8月19日(土)～9月3日(日)

主催 (財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館



展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、平成16年度に24件、平成17年度に26件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、そのなかでもとくに注目された調査13件を取りあげ、京都府内の各関係機関の発掘成果11件と合わせて展示することといたしました。

この展覧会の目的は、平成16・17年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことにありますが、そのためにも、よりわかりやすく、親しみやすい展示を心がけたつもりです。

今回の展覧会に後援いただいた京都府教育委員会、協賛いただいた向日市文化資料館をはじめ、ご協力賜った各関係機関に対し、深く感謝します。

平成18年 8 月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター
理事長 上 田 正 昭



凡 例

1. 本書は、平成18(2006)年8月19日～9月3日まで、向日市文化資料館で開催する、第22回「小さな展覧会～平成16・17年度京都府内遺跡発掘調査成果速報～」の図録である。
2. 展示資料は、当調査研究センターおよび京都府内の各教育委員会・各機関が、主として平成16・17年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。なお、展示資料は、都合により頁数等が異なる場合がある。
3. 開催期間中の8月26日(土)に、第105回埋蔵文化財セミナーを開催する。
4. 資料調査、図録作成、展示資料借用にあたっては、次の機関から御指導、御協力を受けた。
(順不同・敬称略) 宮津市教育委員会・福知山市教育委員会・(財)京都市埋蔵文化財研究所・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・大山崎町教育委員会・宇治市歴史資料館・京田辺市教育委員会・精華町教育委員会・井手町教育委員会・山城町教育委員会・京都府教育委員会
5. 本図録の掲載写真は、当調査研究センター撮影のもののほかは、上記の各教育委員会・各機関の所属である。
6. 本図録は、京都府立山城郷土資料館の協力のもとに作成した。

丹 後

【^{なんばの}難波野遺跡】

宮津市難波野
当調査研究センター調査

天の橋立の北側、成相山と阿蘇海に挟まれたゆるやかな斜面地に立地する遺跡で、これまでの調査で、古墳時代の竪穴式住居跡や奈良・平安時代から中世にかけての掘立柱建物跡などが多数見つかっています。昨年度の調査では、墓の周りに石を貼り付けた弥生時代中期の^{ほうけいはりいしぼ}方形貼石墓が2基見つかりました。



上空から見た2基の貼石墓

【^{みすみ}三角古墳群・経塚】

舞鶴市下安久
当調査研究センター調査

舞鶴西港を望む丘陵部に5世紀後半頃の円墳2基と、6世紀末頃の横穴式石室をもつ方墳が築かれていました。経塚は、古墳の高まりを利用して造られたもので、小さな穴に筒型容器を据えたものや、大きな穴に石を並べて短刀や和鏡を納めたものがあります。これらは、海を基盤として生活した人々によって築かれたものと思われます。



6世紀末の横穴式石室をもつ古墳

【^{かみあぐ}上安久城跡】

舞鶴市上安久
当調査研究センター調査

伊佐津川河口の東岸にある戦国期に築かれた山城で、関ヶ原の戦い(1600年)の時に、細川幽斎が田辺城で籠城戦を行った際の陣所の一つと推定され、^{くるわ}曲輪の跡が残っています。今回の調査では、平安時代末～鎌倉時代初頭(12世紀後半)頃の石組遺構から、仏事に僧侶が打ち鳴らす鉄磬や短刀などが出土しました。



底に丸い石を敷く石組遺構

丹 波 (1)



上空から見た福知山市街地と調査地

おかの 【岡ノ遺跡】

福知山市東岡・南岡町
当調査研究センター調査

福知山城の南に続く丘陵上にある集落跡で国道9号線の拡幅に伴い調査が行われました。その結果、弥生時代後期から古墳時代の竪穴式住居跡・墓・溝、平安時代の掘立柱建物跡のほか、江戸時代の堀跡や井戸などの遺構が多数見つかりました。福知山城の築造前の状況や、江戸時代の屋敷地のようなすをうかがわせる資料です。

つち 【土遺跡】

福知山市土
福知山市教育委員会調査

由良川の平野部にある集落跡で、古墳時代から中世の住居跡や建物跡、溝などが多数見つかりました。出土した奈良～平安時代の遺物には、墨書土器や漆の付いた土器のほか、硯に転用されたものもあり、この集落が有力者の住まいか、役所的な性格をもっていたことがうかがわれます。



竪穴式住居跡と建物の柱跡

そのへ 【園部城跡】

南丹市園部町小桜
当調査研究センター調査

園部城は、小出吉親によって元和7(1621)年に築城された近世城郭で、現在本丸跡は府立園部高校の敷地になっています。今回の調査地は、古絵図から台所跡と推定されます。調査の結果、多数の土坑(穴)が見つかり、江戸時代前半(17世紀後半)から幕末期にかけての多量の近世陶磁器類やキセル、ガラス製かんざしなどが出土しました。



調査地で見つかった多数の土坑

丹 波 (2)

【諸畑遺跡】

南丹市八木町諸畑
当調査研究センター調査

亀岡盆地の北端にある、弥生時代から鎌倉時代にかけての集落跡です。昨年の調査で古墳時代中期(5世紀前半)の竪穴式住居跡が6基見つかり、このうちの2基には板石で造ったカマドが設けられていました。カマドをもつ住居としては、京都府内の丹波・丹後地域では最も古い例になります。



石組のカマドと中に据えられた土器

【池尻・車塚・蔵垣内遺跡】

亀岡市馬路・千歳町
当調査研究センター調査

亀岡盆地を流れる桂川の東岸地域を中心に、平成13年度から国営農地再編整備に伴って大規模な発掘調査が行われ、多くの調査成果があがっています。

池尻遺跡では、亀岡盆地で最も古い弥生時代中期初頭の^{ほうけいしゅうこうぼ}方形周溝墓や、古墳時代の竪穴式住居跡が見つっています。また、6世紀後半に掘られた大溝から、府内5例目となる完形の子持^{こもち}勾玉(5世紀後半)が出土しました。

車塚遺跡では、これまで弥生時代から奈良時代の遺構や遺物が見つっていましたが、昨年の調査で今から約4000年前の縄文時代後期の土器がまとまって出土しました。亀岡盆地ではこの時期の遺跡はあまり知られておらず貴重な資料と言えます。

蔵垣内遺跡では、古墳時代前期から後期の竪穴式住居跡が多数見つかりました。住居跡からは、朱を精製する時に使う石杵^{いしぎね}が出土しており、集落内での朱の利用が想定されます。



上空から見た池尻遺跡の調査地



池尻遺跡で見つかった大溝
(溝の断面はV字形で深さ約2m)

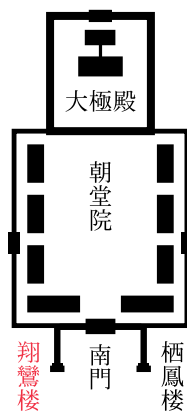
溝の底から出土した子持勾玉 ▶



山城 (1)



宮殿の正面に建てられた翔鸞楼の柱跡



朝堂院復原図

【長岡宮翔鸞楼跡】

向日市上植野町

(財)向日市埋蔵文化財センター調査

朝堂院南門の西側回廊は、南に折れ曲がり、その先端に楼閣が建っていたことがわかりました。これは、後の平安宮に関する古図や文献に見える「翔鸞楼」に相当し(東側は栖鳳楼と呼ばれています)、発掘調査で確認されたのは初めてです。中国の唐の宮殿形式が、長岡宮の段階でいち早く採用されていたことがわかりました。



北側から見た内裏正殿跡

【長岡宮内裏正殿跡】

向日市鶏冠井町

(財)向日市埋蔵文化財センター調査

長岡宮の内裏(第2次内裏)の中心施設である内裏正殿は、昭和41(1966)年に一部が調査されています。今回、内裏正殿の正確な規模と位置を確認するための調査が行われ、新たに柱跡が9か所見つかりました。この結果、四方にひさしをもつ東西37m、南北19mの、長岡京最大の掘立柱建物であることがわかりました。



上空からみた調査地(上が西)

【長岡京跡右京第830次・井ノ内遺跡】

向日市井ノ内

長岡京市井ノ内
当調査研究センター調査

井ノ内遺跡は、長岡京の北西地域に広がる遺跡です。これまでの調査で縄文時代から中世に至る各時代の遺構や遺物が多数見つかりました。今回の調査では、長岡京の条坊に関する遺構は見つかりませんでしたが、木枠が残る平安時代前期の大型井戸や「国万呂」の印が押された奈良時代の瓦が出土しました。

山城 (2)

いげのやま

【恵解山古墳】

長岡京市勝竜寺・久貝
(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

5世紀中頃に築かれた全長約120mの乙訓^{おとくに}地域最大の前方後円墳です。これまでの調査で、前方部から大量の鉄製武器の埋納施設が見つっています。今回史跡整備のための調査で、後円部の西側から「造り出し」や埴輪列が確認されました。また、前方部の幅がこれまで考えられていたより一回り大きくなることわかりました。



後円部の西側で見つかった造り出し

おおやまざき

【大山崎瓦窯跡】

乙訓郡大山崎町大山崎
大山崎町教育委員会調査

天王山の裾野から、平安時代初期に平安京や離宮に瓦を供給していた官営の窯跡が見つかりました。窯跡は、焚き口を東に向けて等間隔に一列に並ぶ5基と、焚き口を南に向ける1基の、合計6基の平窯からなります。これらの窯跡は、遺跡の重要性から、調査の後、直ちに保存が図られ、国の史跡に指定されました。



焚き口を東に向けて一列に並ぶ瓦窯跡

うじしがい

【宇治市街遺跡】

宇治市宇治
宇治市教育委員会調査

宇治市街遺跡は、現在の宇治市街と重なる都市遺跡です。宇治橋通のなかほどの調査地では、平安時代の邸宅と園池跡や道路跡が見つかりました。道路跡は現在の道と重なっており、碁盤^{ごばん}目の街割りが平安時代までさかのぼることが確定しました。また、下層から見つかった韓式土器や須恵器は、同時に出土した木の年輪から4世紀後半のもの^{かんしきどき}と判明し、話題を呼んでいます。



上空から見た宇治市街と調査地

山城 (3)



床面に石が敷かれた横穴式石室

【堀切 1 号墳】

京田辺市薪
京田辺市教育委員会調査

両袖式の横穴式石室から、馬具・鉄製武器・ガラス玉・須恵器・土師器などとともに凝灰岩製の家形石棺の破片が見つかりました。6世紀後半に築かれた直径約22mの円墳で、石室全長は約9m、南山城では最大級の横穴式石室です。この古墳の被葬者は、この地域一帯を掌握する首長クラスの人物と考えられます。



縄文時代の遺物が多数見つかった調査地

【薪遺跡】

京田辺市薪
当調査研究センター調査

一休禅師で有名な一休寺の北方にある遺跡で、京都府内では数少ない縄文時代の集落跡が見つかりました。見つかったのは、竪穴式住居跡や土坑・川跡で、縄文時代中期末から晩期にかけての土器や石器が多数出土しました。中でも、先端に二段のえぐりを入れた大型の石棒は、出土例が少なく珍しい資料です。



円形の墳丘の表面に石が葺かれた3号墳

【鞍岡山 3 号墳】

くらかやま
相楽郡精華町下狛
精華町教育委員会調査

鞍岡山古墳群は、丘陵上にある4基の円墳です。直径約40m、最大の3号墳は、墳頂部に粘土槨を納め、墳丘を飾り立てた葺石と埴輪列が見事です。墳丘の北側には、石を葺いた瓢箪形の島状遺構が見つかりました。マツリのようなのですが、全国的にも珍しいものです。4世紀の終わり頃、ユニークな個性を放つ古墳です。

山城 (4)

【井手寺跡】

綴喜郡井手町井手
井手町教育委員会調査

奈良時代、左大臣にまで登りつめた橘諸兄が建立した氏寺と考えられます。平成15年度からの寺域確認のための計画的な発掘で、礎石や掘立柱建物跡のほか参道のような石敷が見つかり、三彩の垂先瓦も多数出土しています、寺の規模や建物の配置はまだはっきりしませんが、かつての壮大な姿が浮かびあがりつつあります。



上空から見た建物跡と石敷き(右側)

【高麗寺跡】

相楽郡山城町上狛
山城町教育委員会調査

京都府最古の古代寺院の一つで、渡来系氏族狛氏の氏寺と考えられています。塔・金堂の見事な瓦積基壇や雨落の石敷が改めて確認されました。金堂では階段も見つかり、基壇の規模がほぼ確定しました。瓦とともに出土した銅製の塔の相輪の一部は、表面に鍍金が施され、金色の輝きが鮮やかな逸品です。



塔跡南西コーナーの瓦積基壇と石敷き

【内田山古墳群】

相楽郡木津町木津
当調査研究センター調査

J R 木津駅の東側の丘陵にある古墳群で、方墳4基が調査されました。B1号墳(一辺17.5m)では、埴輪棺と木棺が計4基確認され、周溝から埴輪片が出土しました。また、B2号墳の埋葬施設は、底に礫を敷く長大な組合式木棺で、銅鏡や玉類などの多くの副葬品が見つかりました。棺の構造から近畿北部との関連が考えられています。



内田山B2号墳の埋葬施設

山城 (5)



大規模な掘立柱建物跡が見つかった調査地

くにきゅう
【恭仁宮跡】

相楽郡加茂町例幣
京都府教育委員会調査

恭仁宮は奈良時代の都城です。昨年の調査で大極殿跡の北東側に隣接して建てられていた大型の掘立柱建物跡が見つかりました。恭仁宮跡で見ついている建物跡としては、大極殿跡に次ぐ大きさで、どのような役割を果たした建物であったのか今後の周辺部での調査が待たれます。

その他の遺跡



なりあいじ
【宮津市・成相寺旧境内】

宮津市教育委員会調査

天橋立を見下ろす山上に建てられた成相寺の旧境内の調査で、平安～南北朝期の石垣と建物の礎石が見つかりました。



やましなほんがんに
【京都市・山科本願寺跡】

(財)京都市埋蔵文化財研究所調査
御本寺(室町時代後半)の調査で、土塁跡と庭園に据えられていたと思われる大石(写真手前)が見つかりました。



しょうにんがひら
【木津町・上人ヶ平5号墳】

当調査研究センター調査

直径22mの円墳で、今回の調査では石を葺いた方形の造り出しと、古墳の裾に並べられた埴輪列が見つかりました。



かさぎやま
【笠置町・史跡名勝笠置山】

当調査研究センター調査

南北朝の元弘の乱(1331年)の戦場となった笠置山で、焼けた土の層と建物の土壇と考えられる石敷きが見つかりました。

展示遺物アラカルト(当調査研究センター保管分)



ろくじゅうけいきょう
六獣形鏡(内田山1号墳・古墳時代)
※裏面の獣の模様。鏡の直径14cm



こもちまがたま
子持勾玉(池尻遺跡・古墳時代)
※まつりに使われた玉。長さ10cm



ガラス小玉・勾玉と水晶製切子玉
(三角古墳群・古墳時代)
※古墳に納められた装身具



土師器・初期須恵器(諸畑遺跡・古墳時代)
※最前列の中央が初期須恵器



てつけい
鉄磬(上安久城跡・平安～鎌倉時代)
※音を鳴らす仏具



近世陶磁器・土師皿・瓦
(園部城跡・江戸時代)



土師製経筒・和鏡・鉄刀
(三角経塚・平安～鎌倉時代)
※筒形の土器はお経をいれる容器。



文字瓦
(長岡京跡井ノ内遺跡・奈良時代)
※瓦の凹面にスタンプされた人名



土師器・石製品・土製品
(難波野遺跡)
※まつりに使われた小形の土器と
糸を紡ぐ紡錘車(手前中央)



縄文土器↑・石棒→
(薪遺跡・縄文時代)
※まつりに使われた先端に加工
のある石棒。長さ31cm



展示品リスト

遺跡名	遺物名	点数	時代	所蔵・保管	遺跡名	遺物名	点数	時代	所蔵・保管
難波野遺跡	土師器	10	古墳～平安	当センター	長岡京跡右京第830次・井ノ内遺跡	須恵器	2	古墳～奈良	当センター
	石製品	2	古墳	〃		土師器	1	奈良	〃
	土製品	1	〃	〃		緑釉・無釉陶器	3	平安	〃
	墨書土器	2	奈良	〃		文字瓦	1	奈良	〃
三角古墳群	須恵器	6	古墳	〃	恵解山古墳	埴輪	4	古墳	長岡京市教育委員会
	土師器	1	〃	〃		埴輪	4	平安	大山崎町教育委員会
	玉類	一括	〃	〃	宇治市街遺跡	土師器	2	古墳	宇治市歴史資料館
三角経塚	和鏡	1	平安～鎌倉	〃		韓式土器	3	〃	〃
	鉄刀	1	〃	〃		須恵器	6	〃	〃
	土師器容器	2	〃	〃		軒瓦	2	平安～中世	〃
上安久城跡	水晶玉	1	〃	〃		瓦器	1	〃	〃
	鉄磐	1	平安～鎌倉	〃	薪遺跡	土師器	2	〃	〃
	鉄刀	1	〃	〃		陶磁器	4	〃	〃
	銅製品	1	〃	〃		縄文土器	10	縄文	当センター
岡ノ遺跡	弥生土器	2	弥生	〃		石棒	1	〃	〃
	須恵器	2	奈良～平安	〃	堀切1号墳	石器	10	〃	〃
	陶磁器	3	江戸	〃		須恵器	4	古墳	京田辺市教育委員会
土遺跡	墨書土器	1	奈良～平安	福知山市教育委員会		土師器	1	〃	〃
	須恵器	4	〃	〃		ガラス玉	8	〃	〃
園部城跡	陶磁器	4	江戸	当センター		鉄器	1	〃	〃
	土師器	2	〃	〃	鞍岡山3号墳	石製品	6	古墳	精華町教育委員会
	軒瓦	1	〃	〃		玉類	一括	〃	〃
	硯	1	〃	〃		鉄器	2	〃	〃
諸畑遺跡	ガラス製品	4	〃	〃		埴輪	2	〃	〃
	金属器	3	〃	〃	井手寺跡	軒瓦	3	奈良	井手町教育委員会
	絵画土器	1	弥生	〃		施釉垂先瓦	一括	〃	〃
	土師器	8	古墳	〃		セン	1	〃	〃
池尻遺跡	須恵器	1	〃	〃		軒瓦	4	奈良	山城町教育委員会
	勾玉	1	〃	〃	高麗寺跡	セン	1	〃	〃
	弥生土器	2	弥生	〃		文字瓦	1	〃	〃
	石器	1	〃	〃		金銅塔相輪軸棒	1	〃	〃
車塚遺跡	須恵器	2	古墳	〃		石製品	2	〃	〃
	子持勾玉	1	〃	〃	内田山古墳群	鏡	1	古墳	当センター
	土師器	1	奈良	〃		埴輪類	一括	〃	〃
	灰釉陶器	1	平安	〃		玉類	一括	〃	〃
蔵垣内遺跡	縄文土器	一括	縄文	〃		軒瓦	1	奈良	京都府教育委員会
	石器	3	〃	〃	恭仁宮跡	須恵器	2	〃	〃
	土師器	6	古墳～中世	〃		土師器	1	〃	〃
	須恵器	2	古墳	〃					
長岡宮翔鸞楼跡	石杵	1	〃	〃					
	勾玉	1	〃	〃					
	紡錘車	1	〃	〃					
	軒瓦	2	奈良～平安	向日市教育委員会					
長岡宮内裏正殿跡	軒瓦	2	奈良～平安	(財)向日市埋蔵文化財センター					

第22回「小さな展覧会」図録 発行日 2006年8月19日

編集・発行 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40-3 TEL.075-933-3877 Fax.075-922-1189
ホームページアドレス <http://www.kyotofu-maibun.or.jp> 印刷 河北印刷株式会社

この図録は再生紙を使用しています。